



今年の12月は、きれいなクリスマスのイルミネーションが各地で見られるようになり、嬉しいですね。今月は冬休みの特別貸出があります。年末年始にゆっくり読書をする予定を加えてみてはどうですか。



映画化された名作



12月1日は映画の日です。そこで今月は、小説や漫画からアニメや実写の映画になった作品を紹介します。

📖『チョコレート工場の秘密』ロアルド・ダール：著 ケンティン・ブレイク：絵 柳瀬尚紀：訳 評論社
貧しいながらも温かい家庭で育ったチャーリーは、世界一有名で、謎に包まれたチョコレート工場への特別招待チケットを手に入れます。経営者のワンカと個性豊かな親子と巡る工場の中は、夢のような不思議な世界が広がっていました。ディズニー映画『チャーリーとチョコレート工場』の原作本です。

📖『クリスマスキャロル』チャールズ＝ディケンズ：作 こだまともこ：訳 司 修：絵 講談社
強欲でケチな老人スクルージが甥からのクリスマスパーティーの誘いを断った日の夜、今は亡き友人マーレイが幽霊となって現れます。彼が導いた過去・現在・未来の幽霊によって、スクルージが自分の人生を省みて、改心する話です。1943年に出版されて以来、実写映画やディズニーアニメの映画にもなっている名作です。

📖『手塚治虫漫画全集 209・210 火の鳥 9・10 望郷篇』手塚治虫：著 講談社
辺境の惑星「エデン17」で生き抜くために一大決心をする地球人のロミや異星人のムーピー、雌雄同体のノルヴァなど、子孫を残すために生きようとする命を描いた壮大な作品です。先月公開したアニメ映画『火の鳥 エデンの花』の原作漫画です。



5. ジェンダー平等を実現しよう

—ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う—

あらゆる種類の差別や暴力、未成年結婚や強制結婚などの古い慣習を無くす。介護や育児、家事労働を分担し、評価する。政治・経済への平等な参加を認める。性的決定を自分で行う権利を持ち、財産や資源の所有を認め、能力強化のための法を整備する。

『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』 キース・ネグレー：作 石井睦美：訳 光村教育図書
アメリカで女の子がズボンをはいてはいけなかった時代、メアリーという少女が初めてズボンをはいて学校へ行きます。周りは反対する人ばかりでしたが、メアリーはズボンをはき続けました。するとある日、教室の風景が変わったのです。女性の服装の自由や選挙権を、一生かけて訴え続けた女性の最初の話です。

この本、読んでみませんか？（図書委員 宗治さんのおすすめ）

『少年の日の思い出』ヘルマン・ヘッセ：著 岡田朝雄：訳 草思社
「私」の家に客がやってきて、少年の日の出来事を話します。それが「ぼく」です。ある日、近所のエーミールが「ぼく」がずっと欲しかったクジャクヤママユのサナギをかえします。あまりの欲しさにある行動をとった「ぼく」に対して、彼が放った言葉とは!?

この話は1年生の国語の教科書にのっています。世界に驚きと感動を与えた名作なので、読んでみてください。



冬休みの特別貸出

★12月18日(月)
～22日(金)

★1人5冊まで

★1月12日(金)までに
返却してください。